

ロータリーを楽しみましょう

ロータリーにNOはない

最近、潟上ロータリークラブ内では、あまり聞かなくなりましたが、私がロータリークラブに入会した当時は、先輩会員が、クラブの役職を頼んできた時に、返事をためらっていると、「ロータリーにNOはありませんよ」と言われました。

私は「長幼の序」を人付き合いの第一としています。私が60歳を過ぎてからの入会でしたから、いくらクラブ内での先輩であっても、年下の奴なのに随分強引な言い方をするんだな、何が「ロータリアンはNOと言わない」のだ、偉そうに、とも思いました。歳をとっているのに、はしたない、と思われても仕方ありませんが、その時は本当にそう思いました。

入会三年目に、クラブ幹事に推されました。クラブ創立40周年の時でした。このときは、「まだ経験も浅いので、無理だ」と、お断りしましたが、1年間幹事を務めればロータリーを知ることが出来ます。勉強のつもりで、お願いしますと言われ、お引き受けいたしました。40周年事業は、別に周年委員会・委員長がいますので、幹事として会務を務めてくださいとも、言われましたので、お引き受けすることにしました。

しかし、この時にクラブ幹事をお引き上げたことが、2009-2010年度クラブ会長、2010-2011年度地区ガバナー、2014年シドニー国際大会・資格審査委員、2012-2015年度地区ロータリー財団委員長、11年連続国際大会出席、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会・委員長(現会長)と、私がロータリアンとしての楽しみや喜び、充実感を味わうことが出来たのですから、感謝するしかありません。

クラブ会長や幹事、委員長などの役職に就くと、いろいろな仕事が舞い込んでくるので、そんなことはやりたくないと思われるかもしれませんが、これらのことは、あなたが断れば必ず誰かがやらなくてはならなくなるのです。そしてたいていの場合、それは頼まれごとを断れない同じ人に回ってくるのです。あなたも仕事が忙しいかもしれませんが、家族との約束もあるかもしれませんが、しかし、引き受けたひともあなたと同じように忙しいのではないのでしょうか。

ロータリーで「忙しい」というのは、仕事を断る理由にはなりません。忙しいひとがいっぱいいるからです。「忙しい時間を上手にコントロールして活動の時間をつくることも大切です。それも勉強のうち」という言葉もロータリーではよく耳にします。

うまく断ることができたら、あなたは「良かった」と思うかもしれませんが、実は、ロータリーでの大きなチャンスを逃してしまっているかもしれません。

私の経験は奇異なことだ、と言われるかもしれませんが、「NO」と言わずにロータリーの活動をしている人たちは、ロータリーの本当の楽しさを知っているのかもしれませんが、「ロータリーにNOはない!」と言っている先輩は、「NO」と言わなかったおかげで、何か良いことがあったという経験の持ち主で、あなたにもその経験をして欲しいと願っているかもしれません。

私の今一番の楽しみは、毎年行っている「END ポリオ」のチャリティーバザーの開催です。1個30円と小さな金額ですが大きな喜びとなっています。

(地葉新司 2540地区 PDG 潟上RC)